

## 福智町商工会青年部「第3回 意見交換会」 商工会の親睦深め両町村の活性化狙う

町の兄弟都市・沖縄県中城村と福智町の両商工会青年部は、今回で3回目を数える「意見交換会」を3月22日に中城村で行いました。交換会では、互いの商工業の総合的な改善発展を図るため、両町村の年間事業や活動内容などを報告し、意見を交換。今後の交流活動の促進につながる貴重な機会となりました。



↑ 交流事業には、福智町商工会青年部 11 人、中城村商工会青年部 5 人が参加。

↓ オリジナルものさしづくりでレーザーカッターの作業を見つめる参加者たち。



## 開館9周年「図書館・歴史資料館まつり」 記念日に笑顔と感謝が溢れた周年祭

「ふくちのち」開館9周年を祝う「図書館・歴史資料館まつり」が3月14日に「ふくちのち」で開かれました。記念品の配布やコロコロ白玉団子づくり、土器パズル、企画展、周年イベント特別上映会など盛りだくさんの楽しい企画に987人が来場。館内は、終始参加者たちのにぎやかな笑い声に包まれていました。

↓ 写真④から、荒尾和幸校長（撮影時・赤池中校長）と受賞者の太田菜菜さん。



## 令和7年度 土砂災害防止月間の絵画・作文 事前に備える大切さを訴えた絵が受賞

赤池中学校に通う太田菜菜さん（3年生）が「令和7年度土砂災害防止月間の絵画・作文」で優秀賞を受賞しました。突然くる土砂災害の様子を瞳の中に描いた（作品名：それは突然）太田さん。「いつ起こるかわからない災害に向けて油断せずに、日頃からしっかりと備えてほしい」と絵に込めた想いを強く語りました。

## 町立小学校で入学式 新たな仲間たちと「はじめの一步」

町内の小学校・金田義務前期で4月9日に入学式が行われました。今年度の新一年生として合計161人（上野小：11人／市場小：42人／弁城小：13人／伊方小：36人／金田義務前期：59人）が入学。伊方小では、6年生が劇で学校紹介をしたり、校歌を披露したりして、和やかに新入生を迎え入れていました。



↑ 同級生や保護者が見守る中、担任の先生との握手で緊張が和らぐ新入生。

↓ 児童たちが制作した「上野小自然マップ」は「ふくちのち」内の特設スペースに展示され、自由に閲覧可能。



## 上野小が「上野自然マップ」を作成 自然への願い込め地図を制作

上野小児童による「上野自然マップ」が3月13日から「ふくちのち」に展示されています。総合学習の時間を利用して、5年生12人が約1年かけて制作。学校周辺を調査し、水質や川の生物などを、タブレットを活用して丁寧に冊子にまとめています。児童は「ゴミが増えていると感じた。地図をきっかけに生物が守られてほしい」と自然への想いを新たにしていました。

## 虎尾桜満開 最盛期迎えた孤高の巨桜に鑑賞者感嘆

樹齢600年超える県内最大・最古のエドヒガン「虎尾桜」が、3月末に満開を迎えました。今年も力強く花開いた「虎尾桜」を一目見ようと、最盛期には町内外から多くの人々が来訪。福智山・上野登山口から約20分登った先にひっそりと咲き誇る巨大な一本桜を、鑑賞者たちは感嘆の溜息とともに仰ぎ見していました。



↑ 開花全盛期は晴れの日が続き、青と緑と緋色の絶景を眼に収めた鑑賞者たち。

↓ 4月導入の自転車青切符案内や防犯笛を含む啓発物品を配布する黒土町長。



## セーフティステーション活動 事故多発の春に命を守る交通安全啓発

春の全国交通安全運動期間中の4月7日に、交通安全を訴える街頭啓発が、セブンイレブン赤池店の駐車場前で行われました。交通量が増加し事故が急増する春。田川警察署、交通安全推進協議会、町職員ら20人が、店舗周辺を運転中のドライバー約100人に、啓発物品を配布しながら安全運転を呼びかけました。